

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場会社名 株式会社サト一商会 上場取引所 東  
 コード番号 9996 URL http://www.satoh-web.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝口 良靖  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 岡本 雄次郎 (TEL) 022-236-5600  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	36,922	3.1	1,132	31.4	1,303	26.3	841	30.3
27年3月期第3四半期	35,806	3.7	861	19.0	1,031	16.8	646	19.2

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 851百万円(24.6%) 27年3月期第3四半期 683百万円(21.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	94.14	—
27年3月期第3四半期	72.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	32,464	20,287	62.5
27年3月期	28,581	19,668	68.8

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 20,287百万円 27年3月期 19,668百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
28年3月期	—	14.00	—		
28年3月期(予想)				14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,100	3.1	1,106	2.2	1,328	0.1	925	2.4	103.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	9,152,640株	27年3月期	9,152,640株
28年3月期3Q	211,415株	27年3月期	211,275株
28年3月期3Q	8,941,315株	27年3月期3Q	8,941,418株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益及び雇用・所得環境の改善が図られ、緩やかな回復傾向が続いております。景気の先行きにつきましても各種政策の効果により、緩やかに回復していくことが期待されておりますが、一方で、中国経済の減速が顕在化するなど不透明な海外要因もあり、国内景気を下押しするリスクには留意する必要があると考えております。

食品業界におきましては、賃金水準の上昇は消費増税や食品価格などの値上げペースに追いつかず、お客様の節約志向に変化が見られないなか、円安などによる原材料価格上昇への対応も求められており、厳しい環境で推移しております。

このような経営環境のもと当社グループは、平成27年度経営方針に「企業の質と価値を高める」を掲げ、お客様に喜んで頂けるきめ細かな営業活動ができる社員こそが企業の質であり、価値とは、より優れた商品を提供すること、より付加価値の高いご提案をすることと考えております。この「質」と「価値」を高めるため、人材の育成とその環境づくりを最重要政策として進めております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、新規お客様の獲得や既存お客様への深耕が進んだ事、及び提案商品の見直しなどにより売上高、粗利益高は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は369億22百万円(前年同四半期比3.1%増)、営業利益は11億32百万円(同31.4%増)、経常利益は13億3百万円(同26.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、8億41百万円(同30.3%増)となりました。

なお、第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

卸売業部門におきましては、東北各県及び北関東エリアの新規得意先様の開拓、既存得意先様への更なる深耕を行うために、製菓・学校給食・事業所給食・外食・惣菜それぞれが業種別、地域毎に専門性の高い展示会、提案会を開催いたしました。また、人手不足対策商品等の提案、仕入先様とのより一層の協力的な関係づくり、きめ細かな物流体制の整備など、総合力で営業活動に取り組んでおります。商品開発におきましては、お客様のニーズに対応した「J F S A」ブランドを中心とするオリジナル商品、東北各地域の原材料を使用した地産地消商品の開発をおこない、同業他社との差別化戦略(「質」と「価値」を高める提案力)に重点を置いた商品の提供に努めてまいりました。

この結果、売上高は322億62百万円(前年同四半期比2.8%増)、セグメント利益(営業利益)は12億73百万円(同26.4%増)となりました。

小売業部門におきましては、業務用食品専門店として、業者会員様へのサービス向上のため、ご来店時の商品提案型の接客営業や「C&Cメンバーズ・インフォメーション」による商品情報の発信、専門商材の品揃えの充実など、付加価値が高くお役に立つ情報の提供を行っております。また、毎月初めに開催するスタートダッシュセールや季節に応じた売り場づくりなど、一般のお客様に対しても魅力あるオリジナル商品の充実に努め、より楽しく・買いやすく、そして次の来店に繋がる店づくりに取り組んでおります。また、6月に開設しました荒巻店におきましては、中小飲食業者の繁盛に貢献すべく試食提案会を毎月開催し、差別化商材の提案に努めております。その効果は、主要顧客であります中小飲食店業者会員様の来店数増加と新規会員様の増加に繋がりました。

この結果、売上高は46億59百万円(前年同四半期比5.2%増)、セグメント利益(営業利益)は2億91百万円(同20.1%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ38億82百万円増加し、324億64百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が15億62百万円、有価証券が17億20百万円及び商品が5億31百万円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ32億63百万円増加し、121億76百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ6億19百万円増加し、202億87百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益8億41百万円、剰余金の配当2億32百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は62.5%(前連結会計年度末68.8%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月12日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,048,589	1,156,457
受取手形及び売掛金	5,153,496	6,715,726
有価証券	6,279,803	8,000,000
商品	2,176,036	2,707,580
その他	627,090	397,890
貸倒引当金	△7,208	△7,944
流動資産合計	15,277,808	18,969,709
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,661,398	1,607,315
土地	3,994,426	3,978,948
その他(純額)	409,717	401,030
有形固定資産合計	6,065,541	5,987,294
無形固定資産	59,440	49,464
投資その他の資産		
投資有価証券	5,876,277	6,141,302
その他	1,310,642	1,322,206
貸倒引当金	△7,831	△5,764
投資その他の資産合計	7,179,088	7,457,744
固定資産合計	13,304,069	13,494,503
資産合計	28,581,878	32,464,213
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,746,251	10,271,109
短期借入金	590,000	590,000
未払法人税等	243,000	134,100
賞与引当金	272,775	138,808
その他	808,419	785,040
流動負債合計	8,660,447	11,919,057
固定負債		
役員退職慰労引当金	176,229	189,390
退職給付に係る負債	19,805	19,247
資産除去債務	5,995	6,075
その他	51,027	42,770
固定負債合計	253,057	257,484
負債合計	8,913,504	12,176,542

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,405,800	1,405,800
資本剰余金	1,441,717	1,441,717
利益剰余金	16,937,365	17,546,593
自己株式	△187,793	△187,952
株主資本合計	19,597,089	20,206,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,149	76,466
退職給付に係る調整累計額	2,134	5,047
その他の包括利益累計額合計	71,284	81,513
純資産合計	19,668,373	20,287,671
負債純資産合計	28,581,878	32,464,213

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	35,806,444	36,922,581
売上原価	29,793,592	30,466,760
売上総利益	6,012,851	6,455,820
販売費及び一般管理費	5,150,895	5,323,511
営業利益	861,956	1,132,308
営業外収益		
受取利息	101,821	97,877
受取配当金	6,237	7,223
持分法による投資利益	20,886	23,331
受取賃貸料	39,812	39,798
その他	13,243	13,925
営業外収益合計	182,002	182,156
営業外費用		
支払利息	2,190	2,179
賃貸収入原価	9,780	9,139
営業外費用合計	11,970	11,319
経常利益	1,031,987	1,303,145
特別利益		
投資有価証券売却益	3,476	—
特別利益合計	3,476	—
特別損失		
換地処分損	—	12,503
訴訟和解金	16,230	—
社葬費用	—	15,366
その他	2,749	3,209
特別損失合計	18,979	31,078
税金等調整前四半期純利益	1,016,484	1,272,067
法人税、住民税及び事業税	311,917	350,910
法人税等調整額	58,501	79,454
法人税等合計	370,418	430,365
四半期純利益	646,065	841,702
親会社株主に帰属する四半期純利益	646,065	841,702

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	646,065	841,702
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,360	7,316
退職給付に係る調整額	5,280	2,912
その他の包括利益合計	37,640	10,229
四半期包括利益	683,705	851,931
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	683,705	851,931
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	31,376,028	4,430,416	35,806,444	—	35,806,444
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	31,376,028	4,430,416	35,806,444	—	35,806,444
セグメント利益	1,006,935	243,186	1,250,121	△388,165	861,956

(注) 1. セグメント利益の調整額△388,165千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	32,262,603	4,659,978	36,922,581	—	36,922,581
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	32,262,603	4,659,978	36,922,581	—	36,922,581
セグメント利益	1,273,106	291,963	1,565,070	△432,761	1,132,308

(注) 1. セグメント利益の調整額△432,761千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。